

# ハザン省/2022 枯葉剤被害者貧困家庭支援 「仁愛の家」2 軒寄贈 についての支援カンパのお願い

皆様の平素のご協力、ご支援に感謝申し上げます。

JVPF はこれまで表記事業について IFCC 国際友好文化センターと共催で、ベトナムアンサンブルチャリティー公演を開催し事業基金を捻出してきておりました。2020 年は COVID-19 禍によるチャリティーコンサート中止を受け支援カンパを呼び掛け支援事業を実施してきました。

2022 年度は、現在、ベトナムアンサンブルチャリティーコンサートを計画し支援基金づくりを目指しているところですが、未だコンサート開催には諸々の制約があり、支援金づくりに難儀しているところです。

これまでの24年にわたる（～2019年まで）チャリティーコンサートによるベトナム戦争枯葉剤被害者支援の調査・慰問活動及び2019年度から2020年度にかけて実施してきました枯葉剤被害者支援「仁愛の家」寄贈活動について、昨年は事業展開をできませんでした。

2022年度は継続した支援活動のため、表記事業資金1,550,000円相当の支援基金作りを計画しているところです。

ここに、“わたしの体の中では戦争が終わっていない”という被害者の叫びにこたえていくためカンパを呼び掛けることにいたしました。

下記の要領で支援カンパを呼び掛けます。宜しくお願ひいたします。

●一口10,000円で口数は制限ありません。予定を超えた基金は次年度で活用させていただきます。

●募集締切は2022年10月末日といたします。

現在、2023年1月に支援事業の為のベトナム訪問を予定しています。

●支援カンパの送金先

郵便振替口座番号：00110-2-188872

口座名：日本ベトナム平和友好連絡会議

※同封のチラシ付設の振替用紙をご利用ください。

《銀行から振込をされる場合は下記のようにお願いいたします》

銀行名：ゆうちょ銀行 店名：〇一九（ゼロイチキュウ）店

預金種目：当座 口座番号：0188872

口座名義：日本ベトナム平和友好連絡会議

●問合せ先

- ・呼掛主体：NPO 法人日本ベトナム平和友好連絡会議
- ・移転先住所：〒162-0801 東京都新宿区山吹町316番地 菊地ハイツ101  
※8月1日より上記住所での業務となります。電話、FAXは変更ありません。
- ・電話：03-3268-4387 FAX：03-3268-6079  
PCメール：jvccpf@mail.plala.or

バックの写真は「仁愛の家」寄贈に協力する地域の皆さんの模様の様



2022年「仁愛の家」寄贈予定先の模様（1軒目）



左：ブイ・スアン・ビエンさん、妻と3番目の子供（ブイ・ティ・ハさん）。



**-氏名：** Bui Xuan Bien; 1940年生まれ。民族はキン族。解放戦争に従事し有毒化学物質に感染。彼の家族はハザン省バククアン郡ヴィンフック地区の貧しい家庭に属している。

**-居住地：** バククアン郡ヴィンフック地区ヴィンバン村。

**-家族の状況：**

+ Bui Xuan Bien (ブイ・スアン・ビエン) 氏は、1968年から従軍し、1970年には、ベトナム国境のラオス南部とラオス中央部の戦場で参戦した。さらに1972年、彼はベトナム中部クアンチ省のドンハ地区の戦線に参加した。1974年に帰省。

2002年に、彼は有毒化学物質感染レベル40%～60%と認定され、政府助成金月額2,064,000ドンの手当を受け取る。

彼の妻のグエン・ティ・フエさんは1946年生まれ。1970年2月、青年奉仕隊として動員され、ラオス南部地域で弾薬を装填する任務に従事し、戦闘補助要員として奉仕してきた。1973年に除隊し故郷に戻る。決定No.40/2011/QD-TTgによって1回限りの従軍者手当を受け取る。

+ブイ・スアン・ビエン氏には、7人の子供がいたが、1人死亡し、現在はBui Duc Quy (ブイドッククイ) 976年生まれ、Bui Thi Men (ブイチメン) 1977年生まれ、Bui Thi Ha (ブイティハ) 1979年生まれ、Bui Thi Tuyen (ブイチツエン) 1982年生まれ、Bui Van Nien (ブイヴァンニエン) 1983年生まれ、Bui Van Nam (ブイヴァンナム) 1989年生まれの6人。

ビエン氏の子供たちは皆、生活困難な状況にあり、日雇い労働者として働かなければならず、健康状態が悪く、しばしば病気になっている。子供たちのうち、3人目のブイティハさんは知的障害のため結婚できず、有毒化学物質の後遺症に苦しんでおり、仕事もできない。ブイティハさんは被害者二世代として認定され毎月被害者手当として974,000ドンを受け取っている。(現在、父母と一緒に住む)

+ブイ・スアン・ビエン氏の世帯は、ベトナム国基準で貧困層に近い世帯に指定されており、現在のビエン氏の家族の総収入は3,044,000ドン(月額)。ビエン氏と彼の子供たちはしばしば病気であるため、家族の生活費は十分ではなく、老朽化した家を建て替える余裕がない。

+ブイ・スアン・ビエン氏の家は、木製の柱、竹の壁、ヤシの屋根、セメントの床、4部屋(75m<sup>2</sup>)の家だが劣化が激しく、特に雨

2022年「仁愛の家」寄贈予定先の模様（2軒目）

**--氏名：** Hoang Anh Cau; 1954年5月2日生まれ。民族はタイ族。ハザン省バククアン郡Việt Quang町の貧しい家庭で、有毒化学物質の直接被曝者。

**-居住地：** ハザン省バククアン郡Việt Quang町TanThanh村。

**-家族の状況：**

+1973年8月、Hoang Anh Cau氏は、北部のA Luoi地区に駐屯している軍に加わり戦場B (Binh Tri Thien) に赴任。1978年、彼はラオスの戦場(ホーチミン・ルート)での解放戦争に参加。1981年7月、故郷のハザン省バククアン郡に戻り、1983年に結婚。彼の妻は家族の生活を支えるため地元で日雇いとして働いてきた。しかし、彼自身がエージェント・オレンジの影響を受けていたため、しばしば病気になり、彼の家庭の生活状況は非常に困難となる。2021年にはカウ氏は死にかかわる重い病気となり、現在、関節炎と腹痛に苦しんでおり、毎月病院に行き薬を服用しなければならない。

+ Cau氏の妻 Nguyen Thi Hoa さんで1956年生まれ。

Hoaさんは日雇いの農民で安定した仕事がなく不安定で収入が低く、現在、年老いて健康状態も悪化、加えてコロナ感染流行の影響によりほとんど収入がない。

+ Hoang Anh Cau氏は、自立不可能とされる貧しい世帯(ベトナム国基準)に属する有毒化学物質被害者に指定されている。彼の家族は現在、高齢の夫婦2人ですが、彼と彼の妻も病気であり、しばしば長期治療のために病院に行かなければならず非常に困窮している。彼の家族の収入はエージェントオレンジ被害者への政府の手当として2,064,000VND/月(40-60%の影響を受ける)と彼の妻の皿洗いの給料(まれに)のみ。

+ Hoang Anh Cauさんには3人の子供がいるが、生活困難な状況のため3人の子供全員が学校に行けなかったため、大人になって自分の家族があるが安定した仕事に就けない。長男のHoang Van Chinhは1984年生まれ職業は農業。2番目のHoang Van Huyは1986年に生まれて職業は農業。3番目のHoang Thi Loanは1994年に生まれて職業は農業。

+ Hoang Anh Cau夫妻が住んでいる家は1986年に建てられ、シロアリによって柱が損傷した高床式住居であり、根も老朽化してひどく損傷、壁は竹とぼろぼろの木材でできている。住んでいる家は**3部屋の高床式住居**で、種類の混在した木材の柱、混合木材のコルクの壁、ヤシの屋根、土の床ですが、現在家はほとんど使用不能になっており。家屋保持率は30%程度で、この劣化により特に雨期になると安全ではない。

ハザン省2022支援事業先の模様

上

事前調査のため、JVFPFハノイ事務所、ハザン省政府各機関、VAVA(枯葉剤被害者協会)の代表らが家族を訪問しました。(2022/15)

